

コミュニティ・スクール新聞(平成19年4月23日創刊)

コミュス浜田

水戸市立浜田小学校

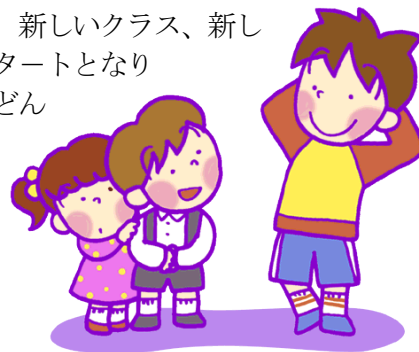
TEL 224-2717

FAX 224-2718

第91号 令和6年6月25日

151年目を迎えた浜田小学校の新学期、4月8日(月)に始業式。新しいクラス、新しい仲間、新しい先生との出会いがあり、胸をワクワクさせながらのスタートとなりました。校長先生からは「よりよく変わる」という話がありました。どんな1年になるのか、地域の皆様も、子どもたちの活動を見守っていただければと思っています。

始業式の翌日、4月9日(火)には、あいにくの雨模様でしたが、入学式が行われ、元気いっぱいの新1年生66名が浜田小学校の一員として加わりました。いよいよ、全児童445名でのスタートです! (※4月半ばで2名転出しましたので、6月1日現在、443名の在籍となります。)



令和6年度春季大運動会が開かれました!

5月25日(土)、「令和6年度春季大運動会」が開かれました。赤組の合言葉は「燃えろ赤組 炎のように」、白組の合言葉は「疾風迅雷」のもと、真っ青な空の下の運動会でした。

始業式に校長先生からあった「よりよく変わる」の話のとおり、随所に昨年度より工夫を凝らした、よりよく変わった点が見られました。今までは学年中心の演技でしたが、低・中・高学年のブロックごとの演技が中心となり、一つ一つの演技の参加人数が多くなり、よりダイナミックに見えるものが多かったように思います。なかでも高学年ブロックによる「祭りだ!浜田のかえる2024」は、伝統的な演技である「浜田のかえる」を今風にアレンジしながら実施し、続けられてきたものです。また、コロナ禍の中で途絶えていた「かえる音頭」が低学年ブロックによって表現され、たどたどしい演技の部分もありましたが、微笑ましい姿を見せてくれました。そして、多くの観客の姿。演技によっては、四重、五重の人垣となり、保護者や地域の方たちのパワーをもらいながら、子どもたちが成長した姿を見せてくれました。多くのボランティアの方たちの協力もあり、大きな事故もなく開催できたことに感謝いたします。



第1回学校運営協議会が開催!

5月21日(火)に第1回学校運営協議会がコミュニティルームにて開催されました。学校運営協議会は、コミュニティ・スクールにとって重要な会議となります。最初に授業参観を行い、その後、話し合いに入りました。校長から本年度の学校運営の基本的な方針の説明があり、質問や意見が交わされ、基本的な方針の承認と共に、本年度も『子どもたちのふるさとづくり』のために様々な行事を行っていくこととしました。また、学校における学校運営協議会の位置づけなどを確認し、現在の子どもの実態や地域での活動について忌憚のない議論がなされ、2時間程度の時間では足りないくらいの白熱した議論が交わされました。



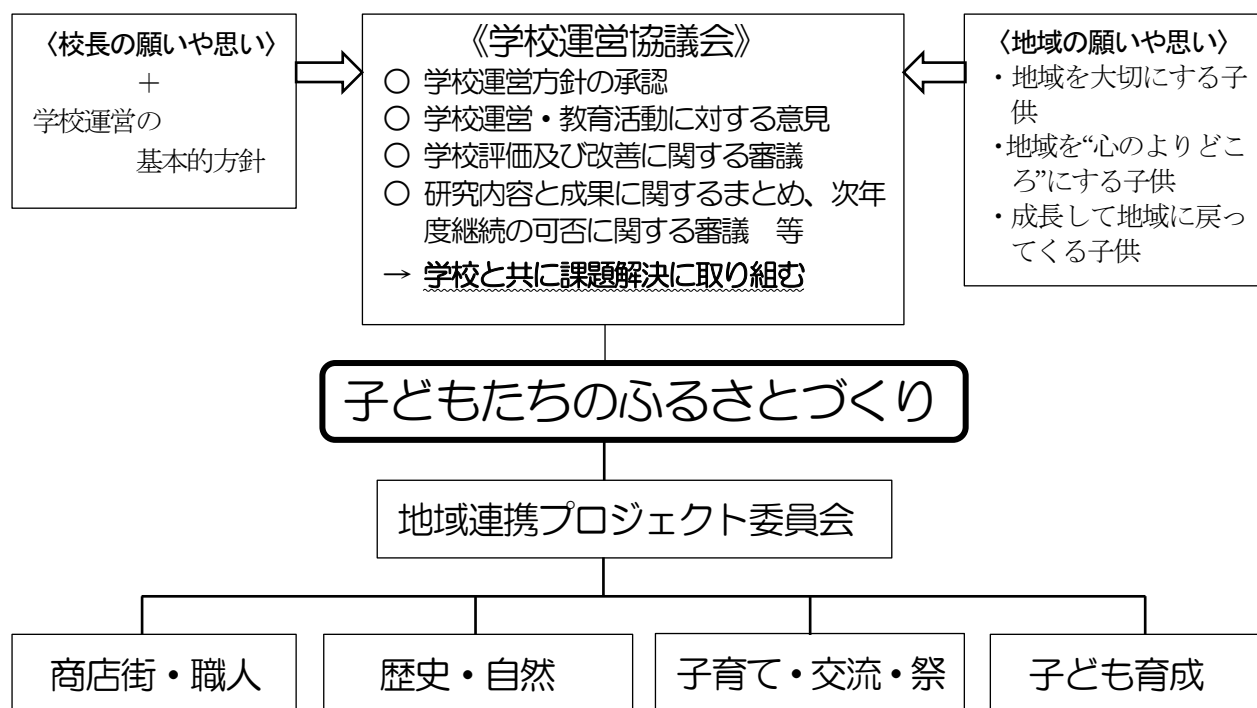
～浜田小学校コミュニティ・スクールについて～

「コミュニティ・スクール」とは、教育委員会が定める設置要綱にしたがって「学校運営協議会」を設置した学校のことです。浜田小学校では、平成19年（2007）に文部科学省より「コミュニティ・スクール推進事業調査研究校」に指定されて以来、コミュニティ・スクールとして活動してきました。今年度で18年目を迎えます。学校運営協議会とは、法律に基づき、教育委員会より任命、委嘱された委員が一定の権限をもって、学校運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関です。

校長が学校運営をする際には、学校運営協議会の承認が必要となります。学校と地域とで、どんな子供たちを育てたいのか等を学校運営協議会で話し合います。そのため、委員は個人的な意見のみを話すのではなく、より多くの地域の方々の意見や考えを持ち寄り、話し合いに臨んでいます。より実効性のあるものにするため、地域代表、保護者代表、有識者、行政職員、学校職員等から学校運営協議会が組織されています。

本年度は、品川雅夫（会長）、小林宏次、秋山孝子、俵靖、飛田新一、武田理恵子、小川和久、藤咲一臣、岡部佐知子、大津誠の10名で編成されています。（敬称略）

【浜田小学校におけるコミュニティ・スクールのしくみ】



学校運営協議会では、話し合いが中心ですので、話し合ったことをもとに具体的に行うのが、地域連携プロジェクト委員会となります。いわば、学校運営協議会がブレーンで、地域連携プロジェクト委員会が実働部隊ということになります。地域連携プロジェクト委員会は4つの部会があり、それぞれが学校職員と地域の方々と話し合い、『子どもたちのふるさとづくり』のために様々な事業を行っています。

「商店街・職人プロジェクト」では、ハロウィン、マラソン大会、幸せの黄色いハンカチなどの事業を、「歴史・自然プロジェクト」では、子ども灯籠流し、地域教材をもとにした学習支援などの事業を、「子育て・交流・祭プロジェクト」では、交通安全教室、子ども神輿、講演会などの事業を、「子ども育成プロジェクト」では、球技大会、リーダー研修会などの事業を行っています。

このような事業は、昨年度の保護者アンケートで、「学校は、コミュニティ・スクールの地域連携プロジェクト事業を通して、お子様にとっての“ふるさとづくり”を推進している。」の設問に対して、「そう思う」が88.1%、「どちらかといえばそう思う」が11.9%と回答があり、保護者にもコミュニティ・スクールの取り組みが定着していることが伺えます。

本年度も「子どもたちのふるさとづくり」のために、学校と地域の皆さんとが一緒になって、浜田地区の子どもを育てていこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。